平成 29 年度第１回児童福祉審議会
【会議資料３】
待機児童緊急対策アクションプランの進捗状況報告について

待機児童緊急対策アクションプランの進捗状況報告
～「平成29年4月待機児童数」と「保育所整備状況」～

6月16日に、県から平成29年4月1日現在の県内市町村の待機児童数が発表されました。戸田市の待機児童数は83人となり、昨年同時期の106人と比べて23人減りました。

市では、平成28年10月に「待機児童緊急対策アクションプラン」を策定し、平成31年4月までに約1,200人分の定員を拡大するなど、待機児童を解消することを目標に掲げています。このプランに基づき、平成29年4月には約240人分の定員の拡大を実施しました。今後もさらなる定員拡大（平成30年4月に約550人、平成31年4月に約385人を予定）を図るとともに、不足している保育士の緊急確保も推進していきます。

平成30年4月開所予定の保育所（平成29年7月現在）

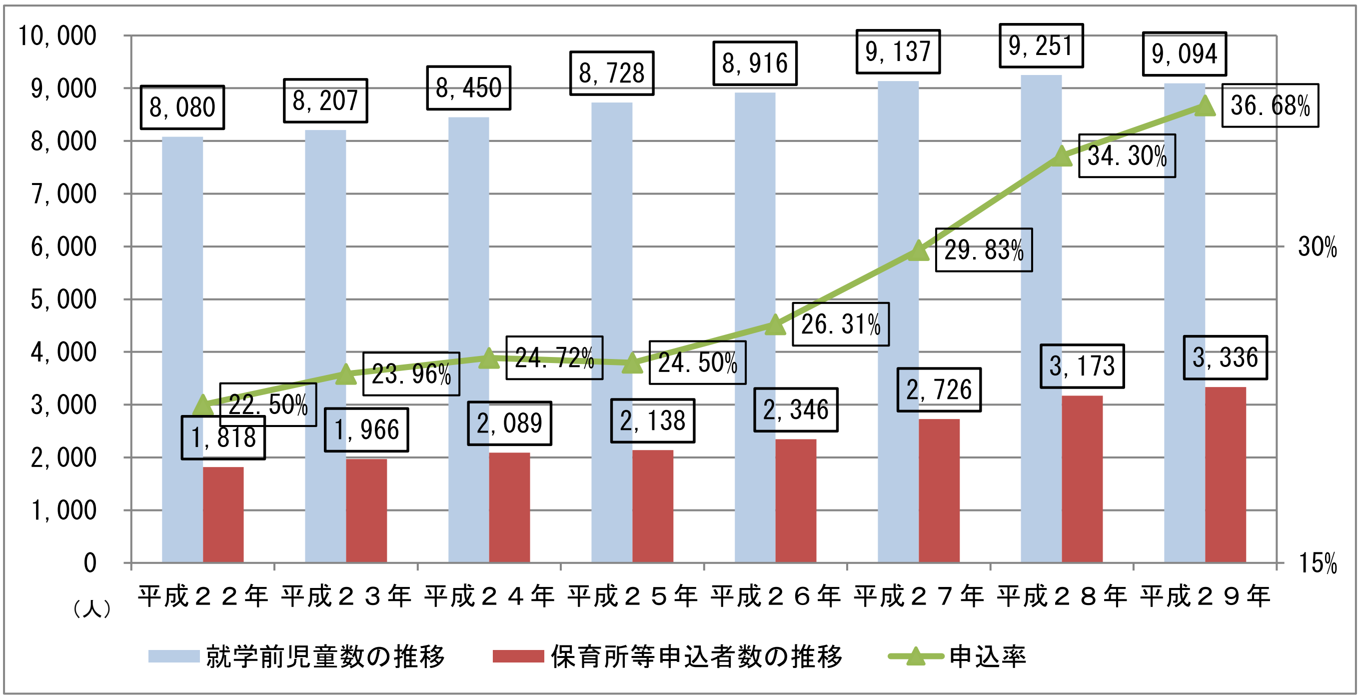
その他の主な取り組み

- 保育士緊急確保（就職支援給付金、宿舎借上支援、産学官協働による保育人材確保・定着化事業）
- 事業所内保育事業や企業主導型保育事業の推進
- 幼稚園の長時間預かり保育の推進など

問い合わせ▶
待機児童緊急対策室（内線677）

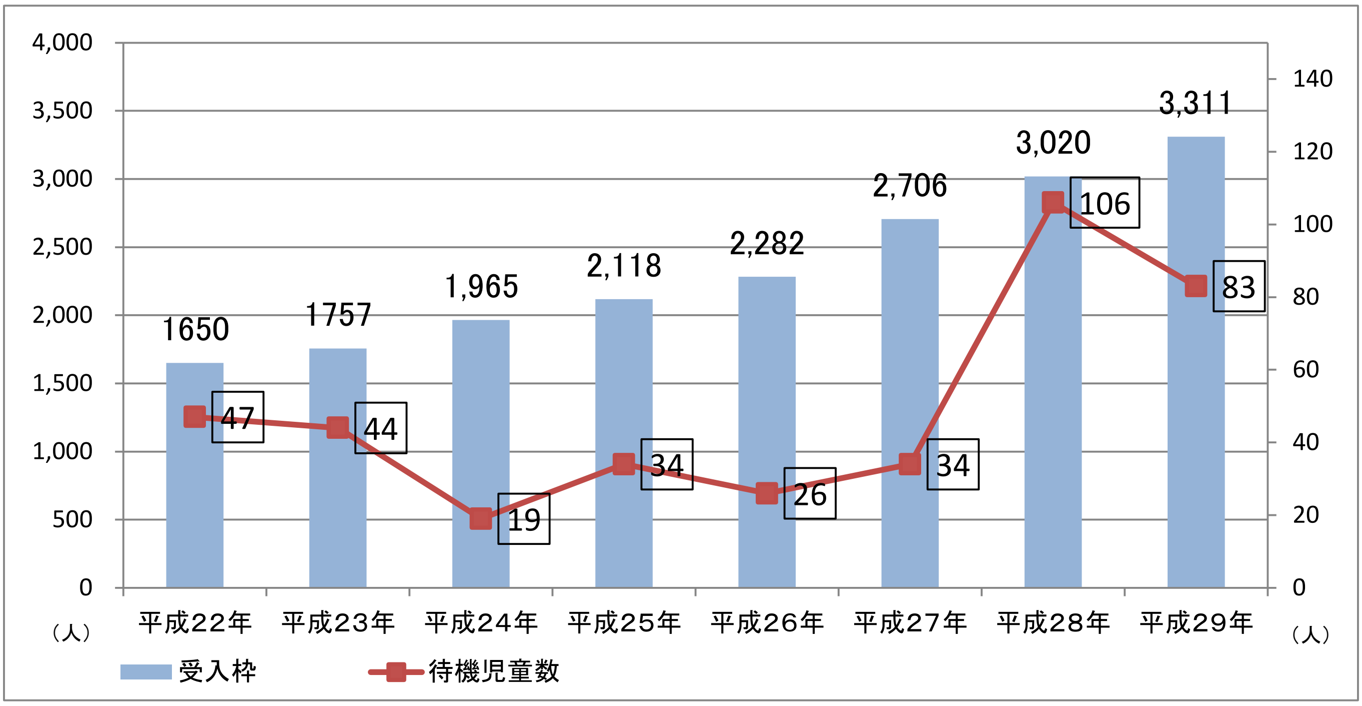
保育所等の申込率等の推移

１　就学前児童数、保育所等の申込者数・申込率の推移



※平成 27 年 4 月から地域型保育（小規模保育）を含む。

２　保育所等の受入枠と待機児童数の推移



※平成 27 年 4 月から子ども・子育て支援新制度開始

保育所用地に対する固定資産税等の減免

1　事業目的

待機児童解消に向けた緊急対策の一つとして、認可保育所等の整備を推進しているが、限られた市域の中で保育所用地の取得が困難になりつつあるなど、円滑な整備が難しくなってきている。

この対策として、民有地を活用した保育所等の整備促進を税制面から支援するため、保育所等の設置のために有償で貸し付けられた土地のうち、要件に該当する場合に土地所有者に対する固定資産税及び都市計画税を減免する。

2　事業内容

保育所等の設置のために有償で貸し付けられた土地のうち、要件に該当する場合に土地所有者に対する固定資産税及び都市計画税を減免する。

(1) 減免の要件

ア　賦課期日において、認可保育所または認定こども園に使用されており設置者に有償で直接貸し付けられていること。

イ　平成 29 年 4 月 1 日から平成 34 年 4 月 1 日までの間に、賃貸借契約を新たに締結し保育所等を新規開設すること。

(2) 減免の割合

上記の要件に該当する土地に係る固定資産税及び都市計画税を 10 割減免。ただし、保育所等の用に供されている部分の税額に限る。

(3) 減免の期限

新規開設日の翌年の 1 月 1 日を賦課期日とする年度から 5 年間

日本経済新聞　7月19日（水）

7/19 日経

保育所用地で減免

戸田市、固定資産税など

埼玉県戸田市は保育所用地にかかる税の減免を始める。土地保有者が保育所向けに貸し付けた場合、固定資産税と都市計画税を5年間にわたり全額免除する。県内では初めての取り組みという。税負担を軽くすることで民有地を活用した保育所の整備を促し、待機児童の解消につなげる。

4月から2022年4月までに新たな賃貸借契約を結んだ土地で認可保育所か認定こども園を新設する場合、その土地に対する固定資産税と都市計画税を減免する。例えば、約70～80人の定員が確保できる敷地面積700～800平方㍍の土地の場合、年間100万円前後の税金が免除されるという。

同市の待機児童数は4月1日時点で83人と県内で4番目に多い。人口増加率も県内で最も高く、特に共働き世帯が急増している。駅前など中心部では土地の取得が難しいため、税制面で保育所の整備を後押しする。

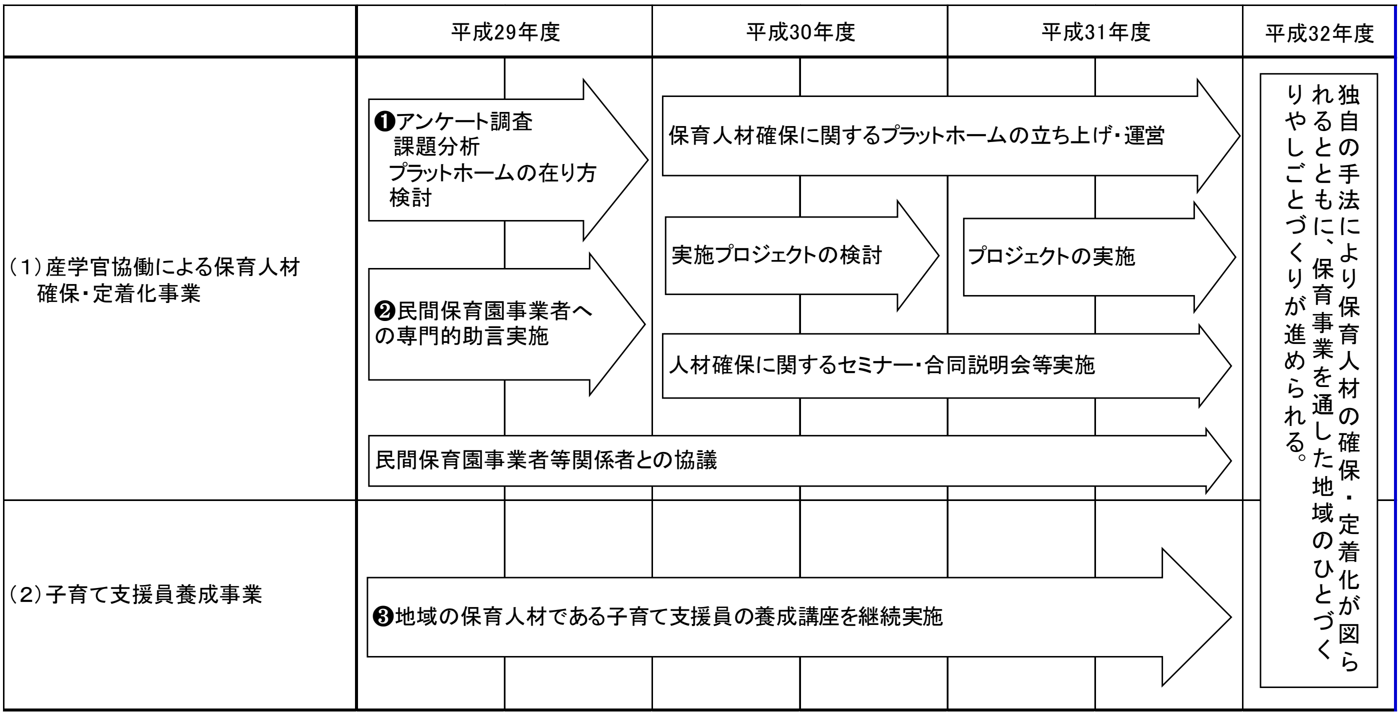
同市は昨年10月に策定した3年間の計画で、1200人の受け皿拡大をめざしている。4月から保育事業者への運営費のほか、整備費の4分の1を補助する制度も設けている。

平成 29 年 10 月 2 日

産学官協働による保育人材確保・定着化事業について

1　事業概要

工程表



2　年度別事業

（1）平成２９年度

■産学官協働による保育人材確保事業（アンケート調査、保育人材確保の現状の把握・分析等）

①保育士アンケート調査（別紙のとおり）と結果取りまとめ

・調査対象　　市内で働く全保育士（約 600 件）

②保育人材確保をめぐる現状の把握・分析

③保育人材確保に関する取組事例の調査

※翌年度立ち上げを予定する協議会のあり方についても検討を進める。

■保育人材確保に関する専門的助言実施事業【平成29年6月補正】

保育人材の採用に関する専門的技術や経験を持つ民間企業に委託し、新設保育園を含む市内の各保育園の特徴に合った採用方法等の専門的助言支援を積極的に実施し、早急に保育人材の確保を図る。

・助言対象法人数及び派遣回数　30法人×１回＝30回

認可保育所　社会福祉法人　11、株式会社　7

小規模保育事業所　12

・市・民間保育園園長連絡会議の代表者等への助言　１回

・支援内容

※事前セミナー開催　８月29日

助言計画書・工程表作成 → **ヒアリング・助言**（9月中旬～） → **報告書作成**

■宣伝事業

①新宿東口アルタビジョンを活用したシティプロモーション（参考：別添、新聞掲載）

８月１日から、新宿東口に設置されているアルタビジョンを活用し、「保育士の募集」と「子育てしやすい戸田市」をPRする動画を放映している。なお、本事業は政策秘書室と待機児童緊急対策室で協力し実施している。また、本PR映像については、市内の認可保育所に撮影のご協力をいただき、市職員が動画を作成したものである。

・動画概要　　「保育士募集」と併せた「子育てしやすいまち」としてのPR

・掲載期間　　８月１日～8月31日　10：00～24：00

1回45秒、毎時21分に放映（天気予報の背景動画）

・場　　所　　アルタビジョン（東京都新宿区新宿3-24-3アルタ館壁面）

②イオン北戸田店のフードコートビジョンを活用した保育士確保等のＰＲ

・画像概要　　「保育士就職支援給付」等のPR

・掲載期間　　７月～9月

１サイクル９分間のうち15秒間

・場　　所　　イオン北戸田店　２階フードコートの柱のビジョン（３台）

③立正大学熊谷キャンパスの幼稚園・保育園就職実習フェア（7月26日）に参加

→私立・公立保育園のＰＲ、保育士確保支援事業の説明、保育施設や実務の質疑・相談

（２）平成３０年度（案）

■産学官協働による保育人材確保事業（協議会立上げ・運営、戦略策定等）

①保育人材確保に関する協議会（プラットフォーム）の設計・立上げ・企画・運営

②協議会の協議内容

・保育人材確保のための『魅力ある職場づくり』アクションプランの検討・策定

・産学官協働による実施プロジェクトの検討、モデルプロジェクトの検討

テーマ１　「保育人材の確保」
（例：新たな求人手法、保育士養成学校との連携強化策、潜在保育士・中高年等の活用策等）

テーマ２　「保育人材の定着化」
（例：キャリアパス制度の検討や職場環境・処遇等の改善策等）

テーマ３　「戸田市の保育の魅力アップ」
（例：市全体と各施設の特徴的な取組みのＰＲ、保育サービスや質の向上等に繋がる事業等）

※キャリアパス制度とは：キャリアアップの少ない保育人材が長期的に職務に就きたくなるようにモチベーション向上や専門性を高める支援を実施する仕組み。（例）戸田市独自の役職設置や障害児保育など専門性の高い保育スキル向上、地域連携等新たな取組等

■保育人材確保に関するセミナー開催費用の一部助成

セミナー１回開催

（３）平成３１年度（案）

■産学官協働による保育人材確保事業（協議会運営、プロジェクト実施等）

①協議会（プラットフォーム）の企画・運営

②アクションプランのプロジェクト事業の実施

テーマ１　「保育人材の確保」プロジェクト

テーマ２　「保育人材の定着化」プロジェクト

テーマ３　「戸田市の保育の魅力アップ」プロジェクト

③３年間の取組を踏まえた保育人材確保事業を自立的かつ継続的に実施していくための仕組みづくり

■保育人材確保に関するセミナー開催費用の一部助成

セミナー２回開催

※平成３２年度以降もセミナー開催予定だが、民間保育園の連絡会議の自主開催（市の一部助成無し）

戸田市保育士アンケート調査のお願い

日頃、市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

戸田市では、保育所等への申込者の急増を背景に、これまでにない規模とスピードで保育の受入枠の拡大を図る必要があります。同時に、保育所等の整備に当たっては、保育人材の確保が必須であり、全国的に保育士不足が深刻化する中で、必要な保育人材をいかに確保するかが大きな課題となっています。

そのような中で、喫緊の保育不足に対応するとともに、長期に渡り、安定的に保育人材を確保し、定着化を図っていくことができるよう、保育人材確保のためのアクションプラン等の策定に取り組んでいます。

つきましては、策定の参考とするために「保育士アンケート調査」を実施することといたしました。

調査の対象として、市内の民間保育所等にお勤めの保育士の方全員を対象に、回答をお願いすることとなりました。お答え頂いた内容は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用致しませんので、お考えのままをご記入ください。

ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、よろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 29 年８月

戸田市長　神保　国男

ご記入にあたってのお願い

１　アンケートには、ご本人がご回答ください。

２　お答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。年数等をたずねる設問は、（ ）内に数字でご記入ください。
「その他」の場合は、番号を○で囲み、（ ）内になるべく具体的にご記入ください。

３　記入日現在の状況でご回答ください。

ご回答頂いたアンケート用紙は、同封の返信用封筒にて送付ください。

≪提出期限８月３１日≫

【お問い合わせ先】
戸田市　こども青少年部　待機児童緊急対策室
電 話 ：０４８（４４１）１８００（内線６７７）
ＦＡＸ：０４８（４３２）８５１０

あなたご自身についておたずねします

性　　　別	1．男性　　　　2．女性
年　　　齢	1．19歳以下　5．35～39歳　9．55～59歳 2．20～24歳　6．40～44歳　10．60～64歳 3．25～29歳　7．45～49歳　11．65～69歳 4．30～34歳　8．50～54歳　12．70歳以上
配偶者の有無	1．有　　　　2．無
未就学児の有無	1．有　　　　2．無
住　ま　い	1．市内　5．その他県内（　　　） 2．さいたま市　6．東京都内（　　　） 3．川口市　7．その他（　　　） 4．蕨市
通勤時間	1．30分以内　2．30分～1時間　3．1時間以上
主な通勤手段	1．徒歩　2．自転車　3．自動車　4．電車　5．その他（　）

現在の就業状況等についておたずねします

問１　あなたの保育士資格の取得方法は。（○は１つだけ）

1．専門（専修）学校の保育士養成課程
2．短期大学の保育士養成課程
3．大学の保育士養成課程
4．通信教育等で学んだ後、保育士試験
5．その他（　　　　　　　　　　）

問２　現在のお勤めの園（施設）は。（○は１つだけ）

1．私立保育所（社会福祉・財団法人）
2．私立保育所（株式会社）
3．小規模保育事業所・事業所内保育事業所
4．家庭保育室
5．その他（　　　　　　　　　　）

問３　あなたの現在の雇用形態は。（○は１つだけ）

１．正規職員（フルタイムの無期契約）	４．派遣社員
２．有期契約職員（フルタイム）	５．その他（　　　　　　　　　　　）
３．有期契約職員（パートタイム）	

問４　現在の法人等での保育士としての就業年数は。

（　　　　　　）年目

問５　あなたは保育士として通算何年仕事をされていますか。また、一つの法人等で保育士として最も長く継続して働いた年数は。（１年未満の方は１年とお書きください）

保育士通算　約（　　　　）年　　　保育士として１箇所最長　約（　　　）年

問６　現在、勤務している職場への就業のきっかけは。（○はいくつでも）

１．ハローワークに求職登録
２．県の福祉人材センターに求職登録
３．人材派遣会社に登録・派遣
４．知人・友人、ＯＢからの紹介
５．保育実習による実習先からの勧誘
６．卒業した養成校からの紹介・あっせん
７．園（施設）の募集に対し自発的に直接申込み
８．求人サイト　サイト名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
９．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問７　問６の就業のきっかけの中で、最も役に立ったのは。（○は１つだけ）

１．ハローワークに求職登録
２．県の福祉人材センターに求職登録
３．人材派遣会社に登録・派遣
４．知人・友人、ＯＢからの紹介
５．保育実習による実習先からの勧誘
６．卒業した養成校からの紹介・あっせん
７．園（施設）の募集に対し自発的に直接申込み
８．求人サイト　サイト名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
９．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問８　現在の就業の満足度は。（それぞれ〇は１つだけ）

※勤務日数・時間、収入については、（　　）内に数字でご記入ください。

内容	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
雇用形態（正職員、パート、派遣）	1	2	3	4	5
勤務日数　週（____）日	1	2	3	4	5
勤務(実働)時間　日（____）時間	1	2	3	4	5
収入　年（_______）万円	1	2	3	4	5
有給休暇取得	1	2	3	4	5
園などの保育の方針	1	2	3	4	5
保育士としてのやりがい	1	2	3	4	5
保育以外（記録、教材の作成等）の業務	1	2	3	4	5
職場の雰囲気	1	2	3	4	5
各種研修の機会	1	2	3	4	5
上司からの自分への評価	1	2	3	4	5
育児休業から復職しやすい環境	1	2	3	4	5
仕事と子育ての両立	1	2	3	4	5
自宅からの通勤時間	1	2	3	4	5

保育士として働くことについておたずねします

問９　保育士の仕事を退職した経験は。（〇は１つだけ）

１．あり（　　　）回　　　　　　　　　２．なし

問 9-1　問９で「１．あり」とお答えになった方へ、その理由は。（〇は３つまで）

１．結婚のため
２．妊娠・出産のため
３．育児のため
４．介護のため
５．自身の健康上の理由
６．転居
７．勤務体制（勤務時間・シフト体制、休暇取得困難等）への不満
８．給与面の不満
９．職場の人間関係の問題
10．保護者への対応の負担
11．記録等の事務、雑務の多さが不満・負担
12．保育方針への不満
13．障がいのある子どもへの対応の負担
14．仕事量が多い
15．保育士としての力量・適性に自信が持てない
16．仕事の責任が重い
17．通勤が不便
18．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 10　妊娠・出産や育児のために退職したことがある方に。その理由は。（〇は３つまで）

１．育児休業が取りにくかったから
２．保育士の仕事がきつく、胎児の安全を考えたから
３．就業時間が長く、出勤・退勤の時刻をずらせないから
４．体調不良で休みや短時間勤務になりがちで、「職場に迷惑」と思われるから
５．自分の子どもを保育園に預けられないから
６．通勤時間が長い、マイカーが使えないなど通勤に苦労するから
７．育児と家事で手いっぱいになったから
８．自分の子育てを最優先で考えたいから
９．専業主婦を希望したから
10．配偶者が保育士退職を希望したから
11．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 11　今後も保育士として働き続けたいですか。（○は１つだけ）

１．今後も戸田市で保育士として働き続けたい　→問 11-1 へ
２．今後は市外で保育士として働きたい　**→問 11-2 へ**
３．今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい（おおよそ　　年後）**→問 11-3 へ**
４．今後は保育士を辞め、働かないつもりだ（おおよそ　　年後）

問 11-1　（問 11 で「１」を選んだ方のみ）戸田市で保育士として働き続けたい理由は何ですか。（○はいくつでも）

１．給与等労働条件に満足しているため
２．人間関係が良好であるため
３．通勤が便利であるため
４．戸田市が住みやすいため
５．戸田市に住んでいるため
６．まちの雰囲気が良いため
７．子どもを育てる環境が良いため
８．その他（　　　　　　　　　　）

問 11-2　（問 11 で「２」を選んだ方のみ）市外で働きたい理由は何ですか。（○はいくつでも）

１．市外の園（施設）で働いてみたいから
（　東京都内　・　東京都以外　）
２．市外に勤めたい園（施設）があるから
３．給与が低いため、高い地域に移りたい
４．通勤が不便なため
５．その他
（　　　　　　　　　　）

問 11-3　（問 11 で「３」を選んだ方のみ）保育士を辞めたい理由は何ですか。（○はいくつでも）

１．他の職種で働いてみたい
２．もっと自分の時間が欲しいため
３．もっと給与が欲しいため
４．休暇が取得しづらい
５．健康上の理由のため
６．保育に自信が持てないため
７．仕事の責任が重すぎるため
８．人間関係に疲れるため
９．将来の生活設計が描けない
10．その他（　　　　　　　　　　）

問 12　保育士として働くために、もっとも重視することは。（○は１つだけ）

１．雇用形態（正職員等）
２．勤務日数
３．勤務時間
４．給与・収入
５．有給休暇取得
６．通勤条件
７．研修や資格取得によりキャリアアップを目指せる
８．保育の方針
９．専門職としてのやりがい
10．職場の雰囲気、同僚、上司との相性
11．その他
（　　　　　　　　　　）

問 13　あなたは保育士として働き続けるにあたり、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。下記の中からおえらびください。（〇はいくつでも）

１．保育実技	９．幼稚園教諭免許取得のための学習
２．救急救命	10．地域の子育て支援
３．安全管理	11．保護者との対応の仕方
４．衛生管理	12．同僚とのコミュニケーション
５．発達心理学	13．パソコン操作
６．保育所保育指針	14．その他
７．食に関する指導	（　　　　　　　　　　）
８．特別な支援を必要とする子供への接し方	15．特にほしいと思うことはない

問 14　どのような内容の研修を希望するか、できるだけ具体的にお書きください。

問 15「保育人材の確保」についてご提案・アイデア・ご意見などがございましたら、お聞かせください。（下の記入欄に自由にご記入下さい。）

（例：新たな求人手法、保育士養成学校との連携強化策、潜在保育士・中高年等の活用策等）

問 16「保育人材の定着化」についてご提案・アイデア・ご意見などがございましたら、お聞かせください。（下の記入欄に自由にご記入下さい。）

（例：キャリアパス制度（※）の検討や職場環境・処遇等の改善策等）

※キャリアパス制度とは：キャリアアップの少ない保育人材が長期的に職務に就きたくなるようにモチベーション向上や専門性を高める支援を実施する仕組み。

問 17「戸田市の保育の魅力アップ」についてご提案・アイデア・ご意見などがございましたら、お聞かせください。（下の記入欄に自由にご記入下さい。）

（例：自治体と各施設の特徴的な取組みの PR、保育サービスや質の向上等につながる事業等。）

◎　戸田市の保育全般につきましてご自由にご意見をお聞かせください。
（下の記入欄に自由にご記入下さい。）

◆　お忙しいところ、ご協力頂きありがとうございました。　◆

日本経済新聞　7月29日(土)　35面(埼玉版)

子育てしやすい地域
戸田市、新宿駅前でPR
「アルタビジョン」に動画

7/29 日経

埼玉県戸田市は8月1〜31日、新宿駅東口の巨大ディスプレー「アルタビジョン」で子育て世帯向けのPR動画を放映する。都心からのアクセスの良さや自然豊かな環境をPRする。子育てのしやすい地域としての認知度を上げ、都内在住の若い世代を呼び込む。保育士の募集も呼びかけ、保育士の確保にもつなげる。

動画は市役所の職員が作成した。保育園の子どもが歌う童謡「どんぐりころころ」をBGMに、45秒の動画を毎時21分に放映する。JR新宿駅まで埼京線で20〜30分といったアクセスの良さをPRする。荒川沿いのバーベキュー広場がある公園などの映像を流し、自然環境の充実についても発信する。

保育士の募集も動画に盛り込んだ。4月から認可保育所の保育士を対象に始めた就職準備金の給付や家賃補助などの支援策を字幕で流す。若い世代が多く集まる駅前で働きやすさを発信することで、保育人材の確保につなげる。

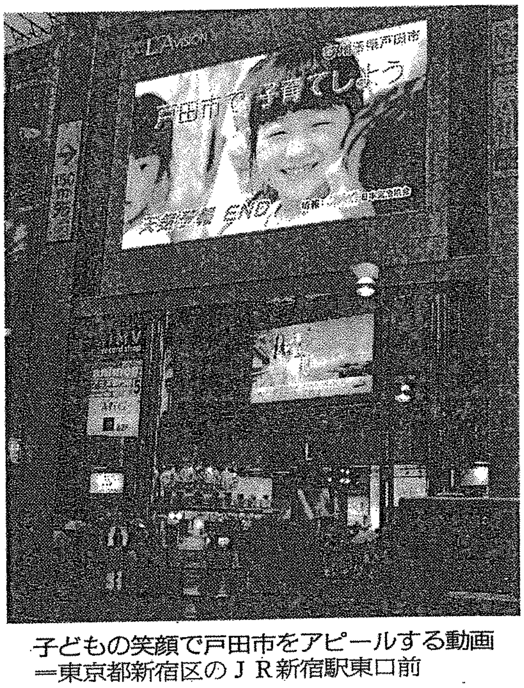
埼玉新聞　8月7日(月)

「子育てするなら戸田市」
新宿駅前で45秒のPR放送

「新宿駅から埼京線で20分。そこは、家族の笑顔が輝く、子育てのまち」―。日本一有名な広告塔とされる東京都の新宿駅東口前のアルタビジョンで戸田市の広報動画が8月の1カ月間限定で放映されている。保育園で歌う子どもたちの笑顔が映り、若い夫妻や保育士たちが主役。「子育てするなら戸田市で住もう」とアピールする内容になっている。

画面には新任保育士には「最大30万円を支給」「月々の家賃を助成」などの文字も。待機児童対策で市が最近打ち出した保育士確保策の一端を紹介し、人材確保につなげようとしている。

動画は45秒。午前10時から深夜の午前0時まで、毎時21分から放映。今月1日に始まり、31日まで約300回放映される。映像は撮影から編集まで市役所職員たちの手作りだ。



子どもの笑顔で戸田市をアピールする動画
＝東京都新宿区のJR新宿駅東口前

「『子育ても、働く保育士も、若い人たちに、戸田市は待っています』というメッセージを伝えたい。それにはアルタが一番では」と市政策秘書室。「シティーセールスの一環です」と神保国男市長も効果に期待を寄せている。

（岸鉄夫）

8/7 埼玉